

連文

R E N B U N

101
Vol. 101
2016.8



始動 久留米シティプラザ

「連文「緑の追想」公演」

第60回 茶道部大茶会 華道部華道展

第10回記念 工芸部会員美術展

平成28年度 連文定期総会

第63回 けしけし祭

連文久留米市民会館

おもひで・さよなら公演

第14回 ジュニア青木繁展

第52回 久留米短歌大会 第50回 仲縄忌俳句大会

平成28年度

定期総会を終えて

会長 木村 清吾

28年度の連文総会を5月28日ホテルマリターレ創世で開催しました。

最初に熊本地震で亡くなられた方、亡くなられた連文会員の方に黙祷を捧げました。

洋楽部のピアニスト原浩美さんがシヨパン作曲「華麗なる大円舞曲変ホ長調作品十八」をオープニングセレモニーで演奏されました。

今年度は連文にとってターニングポイントの年になると思います。久留米シティプラザが4月にオープンし連文の活動拠点は徐々にプラザへ移っていくと思われまます。10月には石橋美術館が久留米市美術館として衣替えします。8月初めには石橋記念くるめっ子館に連文事務所が移転します。今年度は久留米文化推進協議会様から連文へ100万円助成を頂いております。私たちは更に自己研鑽に努め、文化の力で市民の方に勇気を与え続けていきたいと思ひます。

会員の皆様には全ての議案を可決いただき有難うございました。お陰様で今年度も連文事業は順調に滑り出しています。今後とも被災地支援の文化活動、ジュニア世代への文化活動に力を入れていきたいと思ひます。更に福岡県文化

団体連合会、北筑後ブロック協議会(11文化団体)との連携事業も推進していきます。

永年連文会員であられた方大変ありがとうございました。また新しく連文会員になられた41名の方、共に久留米の文化の振興のために頑張りましょう。



青年部活動開始

5月28日(日)、ホテルマリターレ創世において行われた連文定期総会後の祝賀会場にて、この度、青年部結成以来、初の取り組みとして、洋楽部・工芸部・日本舞踊部がコラボレーションしスクラメドレーをご披露する事が出来ました。

このコラボレーションは発案から実行するまでの過程において、部会員全員での意見交換や出演者の練習など大変意義のあることでした。また、木村会長をはじめ諸先輩方からの応援あってこそと心より感謝いたします。

これから青年部では、連文ならではの

63回 けしけし祭

平成28年3月20日(日)11時、200名の人々が、かぶと山の山頂に集い青木繁画伯を偲びました。

オープニングセレモニーは阿部祥子さんの「春の歌」フルート演奏に合わせ連文書道部の松崎睦生さんの絵と書のパフォーマンスがあり、皆魅了されました。

献酒(教育長等)、祭文(教育長)の後山本小学校3年生による青木繁研究発表と「母います国」の合唱が阿部さんのフルート伴奏で歌われました。

次に、連文会員による献花・献茶・献書・献句・献歌を行いました。



多様性を生かし、他の部門との交流を深め、新しい企画にチャレンジしていきたいと考えております。

(青年部 日本舞踊部・藤間 勘志龍)

〔献花〕 田中千舟(華道部)

〔献茶〕 富永佳翠・結城美泉(茶道部)

〔献書〕 松村怜秀(書道部)

〔献句〕 中島千佳(俳句部)

繁忌やふる里の山暖かし 大坪久美枝

木の芽吹くけしけし山の繁の忌 中島千佳

天折の画家の忌日や草青む 吉田いずみ

〔献句〕 吉本能子(川柳部)

常しえに黄櫨は繁を語り継ぐ 馬場ゆうこ

旅立ちの心に刻む海の幸 吉本能子

〔献歌〕 堀江英毅(短歌部)

春風の吹かば青木繁の待ちあむと 堀江英毅

君の名呼びてけしけしの山 堀江英毅

今年も東京から青木繁画伯の親族高山喜一郎様がお越しになり、ご挨拶がありました。

式典終了後かつぱ酒を飲みながら、青木画伯を偲びました。

(事務局)



連文久留米市民会館さよなら公演

3月12日(土)・13日(日)に久留米市民会館で開催しました。

舞台芸術部門公演

連文「市民会館さよなら公演」の舞台芸術部門の公演が開催されました。民謡藤堂流輝若会久留米の民謡合唱メドレーで幕を開け、謡曲、日舞、洋舞、邦楽等の多彩な催し物が繰り広げられ洋楽部の演奏で幕が閉じられました。2日間

同時開催イベント

美術部門チャリティー展

久留米市民会館の閉館にあたり「車イスを贈るチャリティー展」を展示即売の形式で開催しました。

各部の参加により出品数100点を超え、飾付、受付等も協力頂き、2日間を無事に終えることが出来ました。結果、展示作品はほぼ完売し、4月20日、久留米市長室にて久留米シティプラザに2台、石橋文化センターに2台の車椅子を寄贈させて頂きました。

また、贈呈式同日、緊急に美術部門部長会議を開き、チャリティー展の収益から10万円を熊本地震救援金として西日本新聞民生事業団にお渡し致しました。

華道部展示・茶道部茶会

チャリティー展と同時に華道部展示と茶道部茶会を設けてもらい、多くの来場者の方に楽しんでもらいました。

また他部門の方々とも交流ができてよかったですと思います。皆様のご協力感謝いたします。

(さよなら市民会館事業実行委員

洋画部長・宇美拓哉)

14回 ジュニア青木繁展

小・中・高校生を対象にした公募展です。今回は絵画の部では3,387点の応募の中から入賞85点、入選268点、書道の部では2,159点の応募の中から入賞85点入選840点を選出しました。年々応募総数が増え、内容も充実してきました。力作ぞろいの中、先に示す通り大賞が決定しました。

連文 久留米市民会館さよなら公演と同時開催で3月8日(水)～13日(日)、久留米市民会館にて展示し、表彰式は3月13日(日)に行いました。



大賞 書道の部

麗小学校6年 永江咲好さん

小学六年、永江咲好さんの「白日別」の作品は画数の少ない三文字なのですが、逆に簡単で、中々難しい課題です。しかし雄大で余白がすっきりとして筆勢もあり、転折もしっかりと力強く書かれてありました。

又、「別」の「冫」の最終画が素晴らしい。誠に大賞に相応しい作品でした。

(書道部長・宮崎悠雲)

大賞 絵画の部

城島中学校1年 古川己祥さん

絵画の部には昨年度より約900点増加の3,387点の応募があり、かなり厳選となったが、城島中学校1年生の古川己祥さんの作品が大賞に選ばれた。アジアの雑然とした街並みをゲーム画面の様に二次元的に描かれているが、建物の大小や道幅で奥行きも感じる不思議な作品。独特な色使いと縦に大きく画面を割る木もデザイン的でおもしろい。

(洋画部長・宇美拓哉)



▲大賞 絵画の部 古川己祥さんの作品



▲大賞 書道の部 永江咲好さんの作品

建設発表から5年、平成28年4月27日、文化交流施設「久留米シティプラザ」がオープンしました。

半世紀近い間、市民の文化芸術の発表の場として利用されてきた久留米市民会館も、連文「市民会館さよなら公演」により、最後の歴史を刻みました。今後、ここ久留米シティプラザが芸術文化の活動発表の場になる事に、期待と少なからぬ興奮を感じます。

始動 久留米シティプラザ

「連文「緑の追想」公演」

一人一人の思いはそれぞれ異なりますが、その思いの大小に係らず、何か一言、何か一步でも未来に繋がる活動の場所、発表の空間、を作り上げていきたいと強く思っています。

そして・・・2016年6月26日、久留米連合文化会主催公演「緑の追想」が、2011年12月以来5年ぶりとなる2回目の公演として開催されました。以下

「緑の追想」をレポートしてみます。

開場と同時に人の列は幾重にも連なり、否応なく期待が高まるなか、「リングの唄」が流れ、濃淡入り混じる緑色の背景に浮かぶ赤い少女と重なる様に赤いワンピースの少女が登場する。

焼け跡の風景と、背負ってきた重圧からの解放が「リングの唄」に託されて、舞台は「崩れた風景」から始まり、そしてまた「崩れた風景」に帰結していく。

間に全十場を挟み、赤いワンピースの少女は映し出される過去の情景を見つめ、証言者となる。

焼け跡久留米を覆う「カノン」の輪唱と深い悲しみに沈む「悲愴」第二楽章。

共鳴会音楽会で歌われるプッチーニの「私のお父さん」。そのソプラノに耳を澄まして聞き入る観客の溜息と拍手。そして町々で上演された俄獅子は、乱痴気騒ぎと夜更けの間夫との偲び合いを、吉原俄と獅子舞にのせて、洒落つ気たつぷり舞い踊る。

三張の箏は音を追いかけて重なる様に「みだれ」を奏で、現代舞踊の男と女が手を取り合って「山を登る」。

幕間狂言のチャールダッシュは、絞り出されるバイオリンの音色でジプシーの哀愁を奏で、呼応するかの様に裾を割って見得を切る踊り子は、手にした舞扇で男と女の情念を舞い踊る。踊り子の動きと掛け合うバイオリンが呼応する絶妙の間。静寂のあとのわねんばかりの拍手。

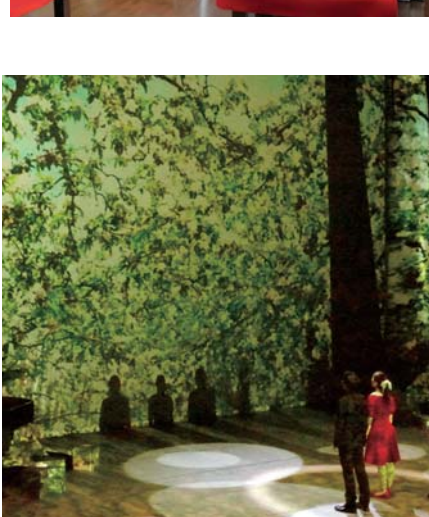
ピアノが奏でるカノンのあとの研ぎ澄まされた肉体のバレエ。跳ね、回り、官能と無垢が乱舞する。そして静かにひれ伏し暗黒の安寧へと向かう。

映し出される白黒写真の焼け跡。前触れもなく転換する限りのない色彩。映し出される現代の瓦礫。繰り返される破壊と再生。そしてその先に見え隠れする希望を見つめている赤いワンピースの少女の後姿。沸きあがる拍手は再生する未来を予感して何時までも鳴り響く。そして舞台は静かに幕を閉じる。

(広報委員 華道部・中野揚弥)



連文の創立者の一人、丸山豊先生が連文会報誌に書き記した「緑の追想」の舞台劇を去る6月26日に久留米シティプラザ・ザグランドホールで開催しました。演出を映画演劇部の齋藤豊治さんに、同じく舞台監督を古賀裕治さんが担当され、被災地仙台からピアニスト、バレリーナをお招きしての公演でした。開演前から長蛇の列ができて、3階席が満席になり4階席でお客様が観ておられました。終演後お客様から「感動しました」との声がたくさん寄せられました。久留米市行政幹部からは「連文のレベルの高さ、底力に凄さを感じました」とのコメントも寄せられました。「緑の追想」に出演された方、有難うございました。本公演に関わられた全ての人に感謝を申し上げます。(会長・木村清吾)



久留米シティプラザ ーオーピングシリーズー

連文^{第62回}茶道部大茶会

「子供達と共に」「まちに生きる」「つくる、つたえる、つながる」の三つのテーマのもと文化交流施設「久留米シティプラザ」が4月27日オーペン、祝って茶道部



五流派で5月3日(祝)～8日(日)(6日除く)5日間、久留米シティプラザの和室・中会議室・小会議室を使用し茶会を催しました。

和室には、蹲踞、腰掛待合、路地等配され緑も鮮やかな景観です。部屋名を「長盛」長く盛んであるようにとの計らいで相国寺派管長有馬頼底殿下がおつけ下さいました。会場を見学しようと期間中大勢のお客様で「初めてのお茶会でお部屋に入ると同時に日常と違う別世界に緊張もしたけど心のこもったおもてなしにお菓子、お茶美味しく戴きました。」との、お声を聞き日本伝統文化の茶道を少しは理解してもらえたのではと思っております。又、シティプラザに対する関心の深さがお客様のお声から伝わってきました。和やかな雰囲気盛會裡に終り心地よい疲れでした。

(茶道部・井上仙雅)

第10回 連文工芸部会員美術展

5月24日(火)～5月29日(日)、新装になった久留米シティプラザ展示室での開催でした。



会員25名の新旧の平面作品49点。立体作品24点・共同制作2点を出品しました。入場者も1700名を超え、高い天井の空間と多様な作品は来場者に楽しんでいただきました。今後シティプラザが、市民にますます喜ばれる施設として発展することを期待します。

(工芸部部长・高木重太)

連文華道部華道展

連文華道部で6月11日(土)～16日(木)、シティプラザ展示室で開催しました。初夏にふさわしく、瑞々しい涼感あふれる作品展示で心が洗われる思いでした。

初めて生花を観る若い人もたくさん来られて、生花の展示に魅入っておられました。期間中延べ1800名のお客様が観に来られました。(華道部・田中千舟)



第50回 仲縄忌俳句大会

6月27日(月)、今年はずらしく雨も降らず、涼しい遍照院で、高山彦九郎先生二百二十三回忌の法要がありました。法要の後、えーるピア久留米にて、俳句大会を行いました。

選者3名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。

小川順子選

◎以白忌の文字摺草として親し

谷川 章子

万緑の中厳かに仲縄忌

平岡 清志

もてなしの御薄の払ふ梅雨じめり

大日方 明美

谷川 章子選

◎貫くといふ涼しさや以白の忌

野口 桂子

くろがねの楠の走り根仲縄忌

井手 重視

もてなしの御薄の払ふ梅雨じめり

大日方 明美

黒田 充女 選

◎貫くといふ涼しさや以白の忌

野口 桂子

装ひの黒の涼しき墓前祭

矢野 愛子

今日のこの万緑にあり以白の忌

野口 桂子

(俳句部・黒田充女)

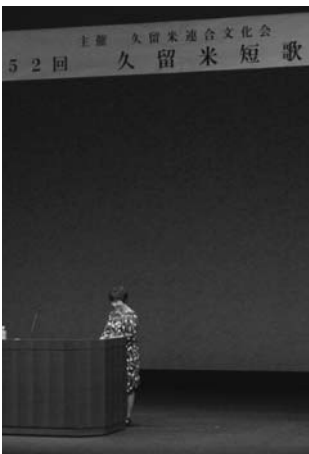
第44回 連文書作家展

4月18日(水)〜22日(日)、石橋美術館1階ギャラリーに於いて開催しました。美術館が6月より休館となり、11月開催を急遽5月に変更し、また熊本地震で動揺もさめぬ中1634名の参観者を頂きました。心より感謝申し上げます。出品者62名で167点の展示。各々の表現方法で各種多様の大変充実した作品群となり本当に楽しい展覧会でした。

(書道部・宮崎悠雲)

第52回 久留米短歌大会

5月29日(日)、久留米シティプラザ3階久留米座で、短歌部主催短歌大会を開催いたしました。筑後地区を中心に県内外より、778首の投稿、約300人の来場者があり、入選者の表彰、講評、歌人小島ゆかり氏の講演が行われました。



特選歌は次のとおりです。

◎久留米市長賞

小島ゆかり 選

まっとうよ電話の声は青空にチヨークで描いたようなフェルマータ

東京部 小田千代

◎久留米市議会議長賞 野田光介 選
あづさゆみ春の筑紫野、太宰府へ観光列車(旅人号)ゆく 春日市 田久保節子

◎久留米市教育委員会賞 吉賀雅選
藍染めを受け継ぐと言ふひとり子の襖混ざるさま静かに見つむ

◎久留米連合文化会賞 藤吉宏子 選
くり返し空という字を写経紙に自我を捨てたく黙もくと書く 宗像市 室園良雄

◎NHK福岡放送局賞 大津留敬選
薄紅のハナエンジュ咲くルソン島桃源あらば父に会ひたし 福岡市 佐藤比佐子

◎角川「短歌」賞 小島ゆかり 選
〈防空壕〉手前で転び一命を取り留めし考 運ありし人 大牟田市 西山博幸

戦時にして想わぬ運に恵まれた父、(考)は亡くなった父のこと。その人間味あふれる姿がなつかしく寂しい。忘れがたい一首。

◎JR九州賞 小島ゆかり 選
日本中ハガキの旅は五十二円車に貨車におもひをのせて 大牟田市 猿渡紀美子

なるほど「ハガキの旅」は日本中どこまで行っても旅費は五十二円。楽しい発想と、ゆったりした旅情が魅力的である。

◎互選 西日本新聞社賞
藍がめと生きる三和土に先人の百五十年の重みをこねる (互選一位 四十一票) 三藩郡 松枝崇弘

秋空の澄む筑後路を健やかに百歳われは平成を生く (互選二位 三十二票) 久留米市 向井真津 (短歌部・堀江英毅)

短歌部 歌評会

7月2日(土)、えーるピア久留米で開催しました。選者2名および互選による結果は次の通りです。

大津留敬選

一位 癒ゆるなき病を解かれ逝きたるや

鳴呼われよりも五歳も若く

酒井イオエ

二位 山道を分け入り蓬摘みをれば鶯の音も調ひ聞こゆ

名島ミヤ子

三位 物の無き世に生まれたる吾なるに物余る今卒寿を迎ふ

下川千次

藤吉宏子 選

一位 ミツキーの耳より埋めて病む夫と

ピース少なきパズル始むる

本松純子

二位 朝庭の草取る吾に風立ちぬ離り住む子等ふと思ふとき

田代直美

三位 ひたともす蛩となりてしんと闇の全山息をするなり

大津留直

互選

一位 老いかさね幾多の人と別れしや散りてはつもる沙羅の白花

藤田禮子

二位 ひたともす蛩となりてしんと闇の全山息をするなり

大津留直

三位 ミツキーの耳より埋めて病む夫とピース少なきパズル始むる

本松純子

(短歌部・堀江英毅)

110周年久留米光画会写真展 連文および当会の初代会長・ 倉田雲平のカメラコレクションを紹介

久留米連合文化会の初代会長は当光画会の初代会長でもある倉田雲平氏。このことは、10年前に出版された記念写真集「水と緑」において当時の田中会長の「百年のあゆみ」に記されています。その光画会は本年110周年を迎え、写真展が開催されました。今回の展覧会ではデジタル主流にある中、フィルム時代のカメラの紹介コーナーが設けられました。それは2009(平成21)年に日本カメラ博物館において開催された特別展「倉田雲平のカメラコレクション展」のカメラ200台以上についての記録写真と説明資料による紹介でした。

さて、久保田精志郎会長率いる現在の光画会の会員数は26名であり、そのうち14名が連文会員です。作品展は「3枚の組写真」による78点と「私の1枚」の23点

第25回西日本華道連盟 久留米支部いけばな展

4月27日(水)～5月2日(月)、前・後期6日間久留米岩田屋新館4階催事場で開催いたしましたところ、入場者約2800名の方にご来場いただきました。

ゴールデンウィークにしては、盛会だったと思っております。

(華道部・諸岡宏明)



(全日本写真連名主催2015年度国際サロン入選作2点を含む)により構成され、入場者の関心を集めました。

5日間の開催期間中の来場者が1000名を超え、県外の写真愛好家も多数訪れ、会場は連日大盛況でした。

(写真部・久我敏博)

第18回上水道フェア 呈茶

6月5日(日)、百年公園東側でお茶をしました。会場は野点式で傘と椅子、すばらしい席ができました。朝早くから家族連れの方々を多く見受けました。会場の廻りで子供達が、にぎやかに水鉄砲をしており茶席に入ることを知らせると、静かに入ってきて、お菓子とお茶を大変喜んでいただけていました。次々と多くの



お待ち戴いているお客様が入席戴きお茶が「本当においしいですね」と、大変喜んでくださいました。中年の女性の方は、「お茶は、薬ですもんね」と言われました。京都の売茶翁の事です。

お茶が良く入ることは、筑後川のみぐみの上水道のおかげです。めぐみの水に感謝しましょう。日本礼道小笠原流が担当しました。

(茶道部・結城翠泉)

日本民謡 一川会

おさらい会&免状授与式

6月18日(日)、久留米市民会館小ホールにて三味線、民謡、端唄のおさらい会があり、1年間のお稽古を積んだ成果を発表しました。民謡、端唄はその唄の持つ意味合いを上手く表現出来るように、また三味線は曲のテンポ、強弱、間に気をつけ、唄を引き立てる伴奏が出来るよう心がけました。昨年から比べると上達している人、昨年並みに終わった人等・みんなで一生命取り組み、団結の輪が強くなった気がします。午後からは、三味線1名、唄3名の免状授与がありました。

(民謡部・石原正子)



久留米文学

5月1日に発行しました。(文芸部門)

合同歌集「久留米歌壇」第32集

4月1日に発行しました。(短歌部)

平成28年 1月～8月

文推協ニューイヤークンサート	1/11(祝)・萃香園
連文役員新年会	1/16(土)・ホテルマリターレ創世
第35回心象会展	1/26(火)～31(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
睦翔会楽しい書画展「四季のおもてなし」	2/17(水)～22(月)・岩田屋久留米店
久留米市民会館おもて・さよなら公演	3/8(火)～13(日)・久留米市民会館
第14回ジュニア青木繁展(絵画・書道同時開催)	3/8(火)～13(日)・久留米市民会館
青木繁旧居 華道展(草月流万年青会中野松芳社中)	3/15(火)～20(日)・青木繁旧居
第63回けしけし祭	3/20(日)・かぶと山
茶を楽しむ会(江戸千家久留米不白会)	3/21(祝)・坂本繁二郎生家
くるめ市民劇団ほとめき倶楽部公演	3/26(土)・27(日)・久留米市民会館
合同歌集「久留米歌壇」第31集	4/1(金)・発行
岳翠会創立60周年記念吟道大会	4/17(土)・ホテルニュープラザ
第7回連文水墨画部展	4/26(火)～5/1(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
久留米文学第62号	5/1(日)・発行
筑後吉井の小さい美術館めぐり	5/3(祝)～5(祝)・うきは市吉井町一帯
久留米市民会館	5/3(祝)～8(日)・久留米シティプラザ茶室
第44回書作家展	5/18(水)～22(日)・石橋美術館1Fギャラリ
久留米市民会館	5/24(火)～29(日)・久留米シティプラザ展示室
久留米光画会110周年記念写真展	5/25(水)～29(日)・石橋美術館1Fギャラリ
熊本亜季vs石山浩一郎	5/27(金)・えるピア久留米視聴覚ホール
平成28年度連文定期総会・祝賀会	5/28(土)・ホテルマリターレ創世
第52回久留米短歌大会	5/29(日)・久留米シティプラザ久留米座
宇美拓哉作品展	5/30(月)～6/5(日)・ギャラリ風(福岡)
アフリカの印象 中尾精后画業50周年油彩画回顧展	5/31(火)～6/5(日)・久留米シティプラザ展示室
あじさいの歌声コンサート	6/4(土)・城島総合文化センターインガットホール
上水道フェア呈茶(日本礼道小笠源流)	6/5(日)・久留米市百年公園
野口睦幸展	6/7(火)～12(日)・ギャラリセル(福岡)
久留米シティプラザオーブニング連文華道部華道展	6/11(土)～16(木)・久留米シティプラザ展示室
親子で楽しむ一日かぎりのオーケストラ	6/12(日)・久留米シティプラザインガットホール
日本民謡一川会 おさらし会&免状授与式	6/18(日)・久留米市民会館小ホール
緑の追想	6/26(日)・久留米シティプラザインガットホール
第50回仲纏忌俳句大会	6/27(月)・遍照院 えるピア久留米
短歌部歌評会	7/2(土)・えるピア久留米
日本春香・宮田玲子リサイタル	7/9(土)・城島総合文化センターインガットホール
JDカンパニーダンス発表会	7/17(日)・久留米市民会館
諸石祥雲退職記念書作展	7/27(水)～8/1(月)・久留米シティプラザ展示室
25周年ダンスギャザリング「夢」	7/30(土)・久留米市民会館
第45回水の祭典久留米まつりに参加(総合文化部)	8/4(木)・明治通りおまつり広場
青木繁旧居呈茶(江戸千家久留米不白会)	8/7(日)・青木繁旧居
フジタバレエ研究所第19回研究生発表会	8/11(木)・石橋文化ホール
花柳光君先生追善はなぶさ舞踊会	8/21(日)・久留米シティプラザインガットホール

平成28年 9月～12月

第36回連文会員華道展	8/31(水)～9/5(月)・岩田屋久留米店
久留米吟詠連盟第57回吟剣詩舞道大会	9/4(日)・石橋文化センター共同ホール
大日本茶道学会福岡地区研修会	9/10(土)～11(日)・大濠公園日本庭園
あたらしい風音(ひびきの会)	9/11(日)・えるピア久留米視聴覚ホール
めくるめく演劇祭(市民劇団ほとめき倶楽部)	9/15(木)～16(金)・久留米シティプラザ久留米座
第20回下水道フェア呈茶(江戸千家)	9/22(祝)・南部浄化センター
第52回久留米三曲協会定期演奏会	10/2(日) 13時～・石橋文化センター共同ホール
日本の曲ふるさとの歌in久留米	10/9(日)・石橋文化センター共同ホール
第14回木村フォトセミナー写真展	10/12(水)～16(日)・えるピア久留米市民ギャラリー
第28回南祥会書作家展	10/12(水)～16(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
裏千家淡交会久留米支部日吉神社観月茶会	10/15(土)・日吉神社
大日本茶道学会中川霊仙追善茶会	10/16(日)・護国山国分寺
北筑後ブロック11文化団体音楽祭	10/30(日)・久留米シティプラザ久留米座
ジュニア文芸大会(表彰式)	11/6(日)・久留米シティプラザCボックス
第70回久留米茶道連合会法要大茶会	11/13(日)・梅林寺
連文コンサート「音楽の贈り物」	11/23(祝)・久留米シティプラザ久留米座
第63回桃青忌俳句大会	11/23(祝)・御井校区コミュニティセンター
筑後・詩の集い	11月予定
裏千家淡交会久留米支部第63回歳末助け合い茶会	12/11(日)・くるめりあ六ツ門6階
青木繁旧居生け花展示 <small>(草月流万年青会中野松芳社中)</small>	通年・青木繁旧居
JR久留米駅生け花展示 <small>(示原流草月流崎嶇流/毎週交代)</small>	通年・JR久留米駅構内

第15回ジュニア青木繁展 作品募集
 ■搬入日 12/19(月)～22(木) ■搬入場所 久留連合文化会事務局
 小・中・高の学生を対象に、絵画と書道部門で作品を募集します。
 詳細は募集要項を確認の上、応募ください。

連文事務局 移転のお知らせ
 石橋記念くるめつ子館(元市長公社の管理室) 住所 久留米市櫛原町80の1
 8月より移転しました。電話番号・FAX番号の変更ありません。
 どうぞ以前同様、お気軽にお越しください。(事務局 中井・稲毛)

訃報 平成28年1月～7月 謹んでご冥福をお祈り致します。
 石橋 伯水さん (華道部) 平成28年2月13日
 松井 直一さん (映画演劇部) 平成28年2月24日
 阿美代子さん (洋画部) 平成28年5月30日
 深見 洋子さん (短歌部) 平成28年7月24日